廣讃寺ジャーナル

第189号
（発行所）
真宗大谷派
松岡山 廣讃寺
中村区城屋敷町3-30
TEL(052)411-5301
FAX(052)411-5341
〈E-mail〉
matsuoka@kosanji.or.jp

混迷きわまる娑婆世界

コロナの感染者数は今も増えていますが、今年5月からは5類に引き下げられたこともあり緊迫していた雰囲気がやわらぎました。

コロナ禍が終われば幸せになれる、世の中が明るくなると思っていた人も多いと思いますが、実際、現在は幸せでしょうか。

今度は気持ち悪いほどの温暖化、世界的規模での経済不安、戦争が各国で起こっています。

そして日本では個人の収入は上がらないのに物価高、そして増税。日本の場合は２０４０年（※２０４０年問題：この頃には団塊ジュニア世代が高齢者になり１０人に３～４人は高齢者という社会になること）に刻々と近づいて少子高齢化において起こる現象に目を背けることができなくなってきています。

「コロナ禍が終われば」という期待は裏切られて、結局はコロナが終わったらまた新しい困難がやってきています。まだコロナも終わったわけではないのですが。

そして自分自身も着実に老い、確実に死に近づいています。

三河一向一揆

釋　綽智

九月の下旬に我が家では珍しく白いマンジュシャゲが咲いたので何か良いことがあるのかなと思っていました。見る人の心をおだやかにするという縁起の良い花のようですが、私が子どもの頃はそんな気持ちにはなれませんでした。

十月四日は一日ずっと曇ってはいましたが雨は降ることがなく二十組のご命日のつどい（三河一向一揆に関係する寺院巡り）に参加しました。バスは満席でした。最初は豊田市寺部町（てらべちょう）にある守綱寺（しゅこうじ）に行きました。住職からのお話でかつて「槍の半蔵」として有名な渡辺半蔵守綱（ＮＨＫ大河ドラマでも登場しました）の菩提寺で、守綱は国を越えて尾張の大名の家老職につかれ長く藩政を支えてきたとのことです。槍だけではなく門徒の寺内町を作り茶道をたしなむ文化人で殿様を喜ばせたといいます。妙好人伝にも作品が載っているスーパーマンです。

昼食は真福寺の竹膳料理をいただきましたが、筍の田楽がおいしかったし、前庭に十メートルもある黒松の這松（はいまつ）も見事なお手入れがしてありました。

スケジュールに追われておりましたので急いで安城の本証寺へ向かいました。一揆の中心寺院で二つの堀の中には農民だけではなく信者の武士なども含めて、長く籠城して戦えるような構造になっていました。そして一揆勢は尾張や北陸の門徒と同様に領主と長い間対立抗争をしましたが最後は家康に滅ぼされました。当時の状態がよく保存されているので現在は国の重要

文化財に指定されています。まさに国宝です。

最後は西尾の聖運寺（しょううんじ）に参りました。群馬の前橋の寺にあった聖人の御影像を京都の仮東海本願寺まで密かに運ぶことをお手伝いされた寺なので、聖（聖人）を運（都に運ぶ）で、聖運寺と名付けられたそうです。また住職が二十組の善行寺さんと兄弟と言われ、一同びっくりしました。この寺を研修の最後にもってこられたのも合点がいきました。そして予定通り六時に帰名して無事解散しました。

このような内容で大変に盛り上がった研修を計画、実施されました東光寺さんをはじめとする二十組のみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。

守綱寺

令和六年（2024年）年忌表

年回	年回にあたる没年
一周忌	令和5年（2023年）
三回忌	令和4年（2022年）
七回忌	平成30年（2018年）
十三回忌	平成24年（2012年）
十七回忌	平成20年（2008年）
二十三回忌	平成14年（2002年）
二十七回忌	平成10年（1998年）
三十三回忌	平成4年（1992年）
三十七回忌	昭和63年（1988年）
四十三回忌	昭和57年（1982年）
四十七回忌	昭和53年（1978年）
五十回忌	昭和50年（1975年）

記憶

今年はもうすぐ終わります。今年、自分にあった出来事を一月から順に思い出そうと思っても思い出せません。

初体験や慣れていない時の行動は記憶に残るそうです。逆に慣れていることをさらさらとこなしていくと記憶には残りづらいそうです。

同じような毎日を繰り返せば記憶には残らないでしょう。しかし毎日を新しく迎え、ありがたく新鮮な思いで生活していくと深く頭の中に刻まれていくことでしょう。

新年を迎え、自分自身も新しくなりたいものです。

行事予定

十二月二十八日（木）十時　親鸞聖人ご命日のお勤め
同朋会例会
（同朋会地区委員は十五分前に集合）

十二月三十一日（日）三時　歳末勤行
（除夜の鐘はありませんので元日の朝の初鐘にお越しください。）

一月　一日（祝）十時　修正会（しゅしょうえ）
十時半頃　朝の初鐘